

◆◆第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【全国発信記事】道北支部 稚内市・紋別市に申し入れ 船員や漁業への認知度向上へつなぐ

道北支部は1月28日に稚内市へ、1月29日には紋別市へ第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行った。

主な申し入れ内容

- ①「海の日」の7月20日の固定化
- ②船員後継者の確保・育成について
- ③カボタージュ規制の堅持について
- ④フェリー・旅客船の航路維持・存続について
- ⑤海洋プラスチックごみ対策について

稚内市

中澤和一稚内海友会会長（船員OB会）にご同行いただき、稚内市側は工藤広市長にご対応いただいた。

工藤市長からは「平成30年から地元中学生を対象に『わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア』に取り組んでおり、船員や漁業への認知度向上につながるよう魅力発信に協力したい」との考え方が示された。

紋別市

全国海友婦人会の紋別支部から高橋千鶴子支部長と佐々木千夜子さんにご同行いただき、紋別市側は宮川良一市長にご対応いただいた。

宮川市長からは「海の日固定化について、活動の主旨は理解するが国の動向を注目したい。船員税制については、税の平等負担の観点から検討が必要である。漁船船員の後継者確保・育成については、地方での労働力確保の観点から重要課題と認識している」との考え方が示された。

「海員だより」